

【受験生特集】— さまざまなキャンパスライフを紹介します

キャリアデザインセンター

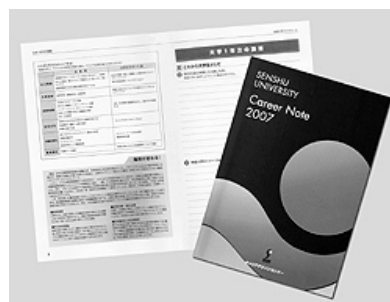
4年後の自分をイメージしよう

「自分探し」のツール、キャリアノート完成

大学時代は、自らの力で「自分探し」をする時間といえる。

学生の将来・仕事・人生について考えるヒントや気づきのきっかけをサポートするキャリアデザインセンターでは、このほど「Career Note 2007(専修大学キャリアノート)」=写真=を発行した。

一部(昼間部)の入学手続き者に送付されるほか、2年次生には、4月のキャリアガイダンス時に配布される(3年次生以上は希望者に配布)。



実践的なキャリア教育

池本正純同センター長に作成の目的を聞いた。

「『キャリア教育』のねらいは、『学生の人間力の形成』にあります。『社会知性の開発』を目指す本学では、問題発見能力・問題解決能力を身につけることを教育の目的としています。社会でいま、最も要求される能力は『創造力』と言われていますが、それを磨くために必要なものは『個性』です。本学では、個性を生かし、創造力を磨く実践的なキャリア教育プログラムを用意しています。

『キャリアノート』は、学生時代を漫然と過ごすのではなく、入学から卒業にいたるまでにどのような目標を描き、いかにしてそれを達成、実現しようとしてきたか、『書くこと』で認識を深めることを目的としています。自分だけでなく、ゼミナール指導教員や大学関係者から、客観的な立場でコメントを加えてもらうことで、自己理解を深め、就職活動でエントリーシートや自己PRを作成する際にも活用出来るでしょう」

「自分に何が大切か」考え続けるために

卒業するときに、自分にふさわしい「キャリア」のスタート地点にいるために、「キャリアノート」を真っ黒にするくらいに活用しよう。

「社会に出てからも『自分探し』は続きます。時代の変化を見つめながら自分に磨きをかけ、卒業後も時に『キャリアノート』を振り返りながら、新たなページを書き続けていってほしい」と同センターでは話している。

各種コンテスト表彰式

キャリアデザインセンターが主催した「専大ベンチャービジネスコンテスト」(入賞者434号既報)、「ファンドマネジャー専大グランプリ・投資ゲーム」、「同・投資経過分析レポート」入賞者の合同表彰式が1月12日、生田キャンパスで行われ、池本同センター長から賞状と賞金が贈られた(入賞者詳細は同センターホームページで)。

コンテストは07年度も開催予定。次回はあなたも挑戦してみよう。



▲「ファンドマネジャー」入賞者の皆さん

【ファンドマネージャー・投資ゲーム部門】

▽優勝＝今井秀(ネット情報2)

▽優秀賞＝森野琢磨(法2)、佐藤壮平(経済2)、漆原真澄(経営2)

【分析レポート部門】

▽最優秀賞＝江頭弘章(商3)

▽優秀賞＝河面勇生(商3)、飯泉直之(商3)、小幡昂平(商3)

課題解決インターンシップ・ビジネスソリューション講座

成果を合同発表

キャリアデザインセンターが、川崎市と連携して行った「地域密着型インターンシップ」などに参加した2団体と4人の参加学生の成果発表会が12月19日、生田キャンパスで行われた。

「地域や団体が解決しようとしている課題に学生が主体的に取り組み、多少なりとも地域に貢献出来たと思う。『社会知性の開発』にふさわしいプログラムであり、大きな自信となったはず」と、同センターでは話している。

同日は、昨年4月から始まった「ビジネスソリューション講座」受講生3人による、企業価値向上の提案も行われ、1年間で身につけた論理力、表現力を披露した(同講座は07年度からは経営学特殊講義として正課科目となる)。

本田邦彦さん(経営2)

「スーパー・百貨店の屋上に緑を」—CSRで環境問題に取り組むことで、企業の持続的成長が可能になると発表(ビジネスソリューション講座で)。

舘盛有希さん(ネット情報3)

「川崎市男女共同参画センター・すくらむ21」で身近な男女共同参画事業を理解し、コミュニケーションスキルを学び、将来の働き方や生き方を考えた。

飛川三智枝さん(文4)

川崎市空き店舗事業に参入した、NPO法人「こころNETし・え・ん」の配食サービス事業にかかわった。福島義和ゼミ。

【受験生特集】— さまざまなキャンパスライフを紹介します

学部長賞表彰

商学部

陸上競技部の座間選手らに授与

学生の顕著な活躍をたたえる「学部長賞表彰」が、1月30日、教授会内で行われた＝写真。

昨年10月に行われた箱根駅伝予選会で個人1位の好成績を収め、3年連続63回目の本大会出場に導き、12年ぶりのシード権獲得に大きく貢献した陸上競技部の座間紅柝さん(3年次)らに川村晃正学部長から賞状が手渡された(公認会計士試験現役合格の3人は研修のため欠席)。



川村学部長は、「本学の21世紀ビジョン『社会知性の開発』を实践した皆さんは、学生の模範となり、我が学部の名声を高めてくれました。今後一層の活躍を期待します」と激励をこめてあいさつした。

表彰者は次のとおり。

- ▼渡辺達朗ゼミ4人(学生まちづくりプレゼンテーション大会イン四谷で入賞＝435号)
- ▼首藤昭信ゼミ5人(日経STOCKリーグで部門賞を受賞＝428号)
- ▼座間紅柝さん
- ▼行武広貴さん(日本バレーボール協会の要請により、データ収集、通訳として活動＝435号)
- ▼新村弥加さん、鷹合正駿さん、新井聖一さん(公認会計士試験に合格)
- ▼奥瀬喜之ゼミ2人(日経広告研究所報229号に論文掲載＝434号)
- ▼関根孝ゼミ6人(商店街空き店舗アイデアコンペで最優秀賞を受賞＝436号)
- ▼神原理ゼミ5人(神奈川産学チャレンジプログラムで優秀賞を受賞＝436号)

ネットワーク情報学部

学びの成果を評価

1月23日、1年次生の「ネットワーク情報概論」の講義の中で、各種コンテストで好成績を収めた学生や難関の資格試験に合格した学生の努力をたたえる「学部長賞表彰」が行われた。

齋藤雄志学部長が「何事にも積極的に取り組む先輩たちの活躍を見て、モチベーションを高めてほしい」とあいさつし、4グループと2個人に記念品と賞状を手渡した。

全国で大学生の合格者は23人という、難関の情報処理技術者試験／テクニカルエンジニア(ネットワーク)試験に合格した1年次の綿引啓太さんは、「『資格』は知識でしかないと考えています。2年次からの授業で実践的な技術を身につけていきたい」と抱負を語った。



その他の表彰者は次のとおり。

- ▼小林隆プロジェクト(ベンチャービジネスコンテスト育友会長特別賞受賞)
- ▼江原淳プロジェクト(434号)
- ▼千代田カードプロジェクト(栗芝正臣プロジェクト=427号)
- ▼飯田周作プロジェクト(ETロボコン2006にキャッツ(株)との産学協同チームで出場し、総合10位に)
- ▼今井秀さん(ファンドマネージャー専大グランプリ優勝)

プロジェクト発表会 優秀賞も表彰

12月16日開催の「プロジェクト発表会」で優秀賞に選ばれた3団体への表彰も同日、行われた。

- ▼「Active Link—『移動』から展開する動的連鎖の提案—」(代表=市村英二さん、担当=上平崇仁助教授)
- ▼「アド♪Media—店内放送を広告媒体として活用するサービス—」(代表=熊谷陽さん、担当=小林隆教授)
- ▼「デジタル万華鏡をつくろう」(代表=横山敬之さん、担当=坂本實教授／綿貫理明教授)

【受験生特集】— さまざまなキャンパスライフを紹介します

ネットワーク情報学部コンテンツデザインコース

総合演習科目成果発表会

コンテンツデザインコースに所属する2年次生の総合演習科目成果発表会「情報の積み木～『食』から取り出すカタチと創造」が12月11日、生田キャンパス9号館4階で行われた＝写真。



【受験生特集】— さまざまなキャンパスライフを紹介します

生田キャンパスにも「入学センターインフォメーション」開設



生田キャンパスにも入学センターインフォメーション＝写真＝が9号館1階にオープンしました。12/31、1/1を除く毎日、10時から18時までスタッフが常駐、入学情報を提供します。

電話 044(911)0794